



一般社団法人電気自動車普及協会

Association for the Promotion of Electric Vehicles

2024年度 事業計画

2024年 6月 11日
一般社団法人電気自動車普及協会

- 1. 会員状況**
2. 2023年活動報告
3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）
4. 2024年度事業活動
5. 予算計画
6. 2024年度体制
7. スケジュール

一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles



正会員の新規入会は8社、退会は12社

＜会員数の推移＞ * 2023年4月1日～2024年3月末での入退会実数(会員名簿より)

	2023年4月1日	2024年3月31日	増減	注記
正会員	92社	88社	+ 入会8社 - 退会12社	●入会 社は下記の通り ※次回ご報告 Wood Mackenzie 株式会社放電精密加工研究所 キワ・アート・アンド・デザイン株式会社 グローブマーケティング株式会社 シェフラー・ジャパン株式会社 株式会社パワーエックス 株式会社ヴァレオ・ジャパン 有限会社山泉
特別会員	163団体	164団体	+ 入会1団体 - 退会0団体	
賛助会員	56人	58人	+ 入会3名 - 退会1名	●退会 社は下記の通り ※次回ご報告 株式会社IDOM 株式会社モビテック ダッソー・システムズ株式会社 ツネイシCバリューズ株式会社 株式会社JTB BMW Japan 特定非営利活動法人日印国際産業振興協会 株式会社住商アビーム自動車総合研究所 東京産業株式会社 丸紅株式会社 株式会社鉄人ソフト パイオニア株式会社
合計	312会員	310会員	正会員 28.4% 特別会員 52.9% 賛助会員 18.7%	

＜入会理由＞ 入会者アンケートより

- ・電気自動車、充電器のカテゴリー規格の動向及び普及状況及びその予測
- ・電気自動車関連企業とのネットワーキング
- ・広告業の立場からEV普及に貢献したいため
- ・他では得られない情報取得及び横のつながり
- ・サーボプレスのメーカー事業を行っており、高精度加工など得意とするサーボプレスとなりますのでLiBなどの電極成形やEV関連部品などのプレス加工による試作開発や量産に携わらせて頂き、今後、電気自動車関連業界の進歩発展に貢献させて頂ければと思っております。

1. 会員状況
- 2. 2023年活動報告**
3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）
4. 2024年度事業活動
5. 予算計画
6. 2024年度体制
7. スケジュール

一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

2-1. e-モビリティ・ミートアップ

2023年度はで5回開催いたしました。



2023年度は、地域eモビリティ委員会と技術委員会を統合して、e-モビリティ・ミートアップとして開催。
コロナ禍の第1回～第2回は、オンライン開催のみ、第3回～5回はオンライン+リアルハイブリッドで開催。

(内容：メーカー3社 ベンチャー2社 3省庁 自治体1市 シンクタンク2社 会員企業紹介4社)

【第1回】(2023年6月19日開催)

「商用EVから加速する日本の自動車産業の電動化とベンチャーの起こすゲームチェンジ」folofly(株)

「BYD Auto Japanの日本市場戦略」BYD Auto Japan(株)

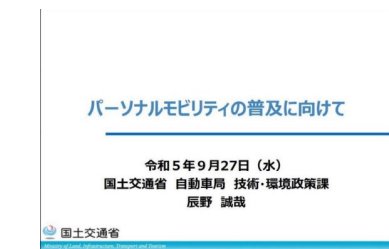


【第2回】(2023年9月27日開催)

「蓄電池の活用で実現する 電気自動車の再エネ急速充電」(株) パワーエックス

「パーソナルモビリティの普及に向けて」国土交通省

「複動式サーボプレスを用いた燃料電池用金属セパレータの成型事例」(株) 放電精密加工研究所



【第3回】(2023年11月22日開催)

「Mobility Innovation Hub YOKOHAMAの説明」

「2023年モビリティインベーションのトレンドを振り返る」CROSSBIE JAPAN (株)

「最近の電動化政策について」環境省

「会社紹介-モビリティ領域の事業転換」日本特殊陶業(株)

「会社紹介-目的達成のためのデザイン-体験価値の最大化-」キワ・アート・アンド・デザイン(株)



【第4回】(2024年1月22日開催)

「三菱自動車考える電動化」三菱自動車工業(株)

「ヴァレオの電動化への取り組み」(株) ヴァレオジャパン／

「会社紹介-未来のまちづくりをデザインする機械式駐車場」(株) 技研製作所



【第5回】(2024年3月15日開催)

「特定小型原動機付自転車の施工状況等について」警察庁

「『最新技術の社会実装を早期実現する中国自動車産業』～V2X、電池交換等技術導入状況からの考察～」(株) フォーイン

2-2. ジャパンモビリティショーYomiuri Future DayにAPEVが登壇



タイトル：電気自動車で脱炭素社会への貢献



日時：2023年11月1日（水） 11時-12時

場所：東京ビッグサイト西展示棟 1Fジャパンモビリティショー内「ジャパンフューチャーセッション」会場

パネリスト：

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

理事 草加 浩平 氏

株式会社パワーエックスEVチャージステーション事業部

シニアマネージャー 松岡 亘 氏

環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課 脱炭素モビリティ事業室 自動車環境戦略企画官 河田 陽平 氏

コーディネーター:フリーアナウンサー 政井 マヤ 氏



2-3. YOXOフェスティバルにて、電気自動車普及活動のPR展示＋事業発表



YOXOフェスティバルに参加展示

【モビリティで2030を創る】国際ワークショップ発表会

日時：2024年2月3日（土）2月4日（日）

場所：横浜みなとみらい21地区 ハンマーヘッドCIQホール

◎展示物：

＊2024年「【モビリティで2030を創る】国際ワークショップ」ポスター

＊2022年入賞作品ポスター

◎配布物：国際学生コンテスト作品集2019年、2022年

◎試乗：次世代電動車いす2車種の試乗会（WHILL株式会社協力）

◎地球環境にいいこと宣言！！（株式会社ベネッセ協力）

◎EVメモ帳進呈（日産自動車株式会社協力）



スタートアップによる技術実証、企業や学校、個人、イノベーター、クリエイターによる「未来」をテーマとした展示（ロボット、モビリティ、XR等）、デモやワークショップなど、見て・触って・あっと驚くユニークな未来技術を体験できます。大人から子供まで、未来に触れてワクワクしよう！



2-4.「モビリティで2030を創る」 国際ワークショップ企画立案

「Create 2030 by New Mobility」 International Workshop Planning



2013年から5回開催されている、
国際学生デザインコンテストをリニューアル
参加対象となる“Z世代”と企業や地域が
交流できるワークショップ方式を企画。
2024年事業として、開催することになった。

■ テーマ

“モビリティで2030を創る” 【X-Cityの提案】

■ THEME

“ Create 2030 by new Mobility “
[Proposal for X-City]

■ 期間

2024年 2月初旬 : エントリー開始

2024年 4月下旬 : プレ ワークショップ

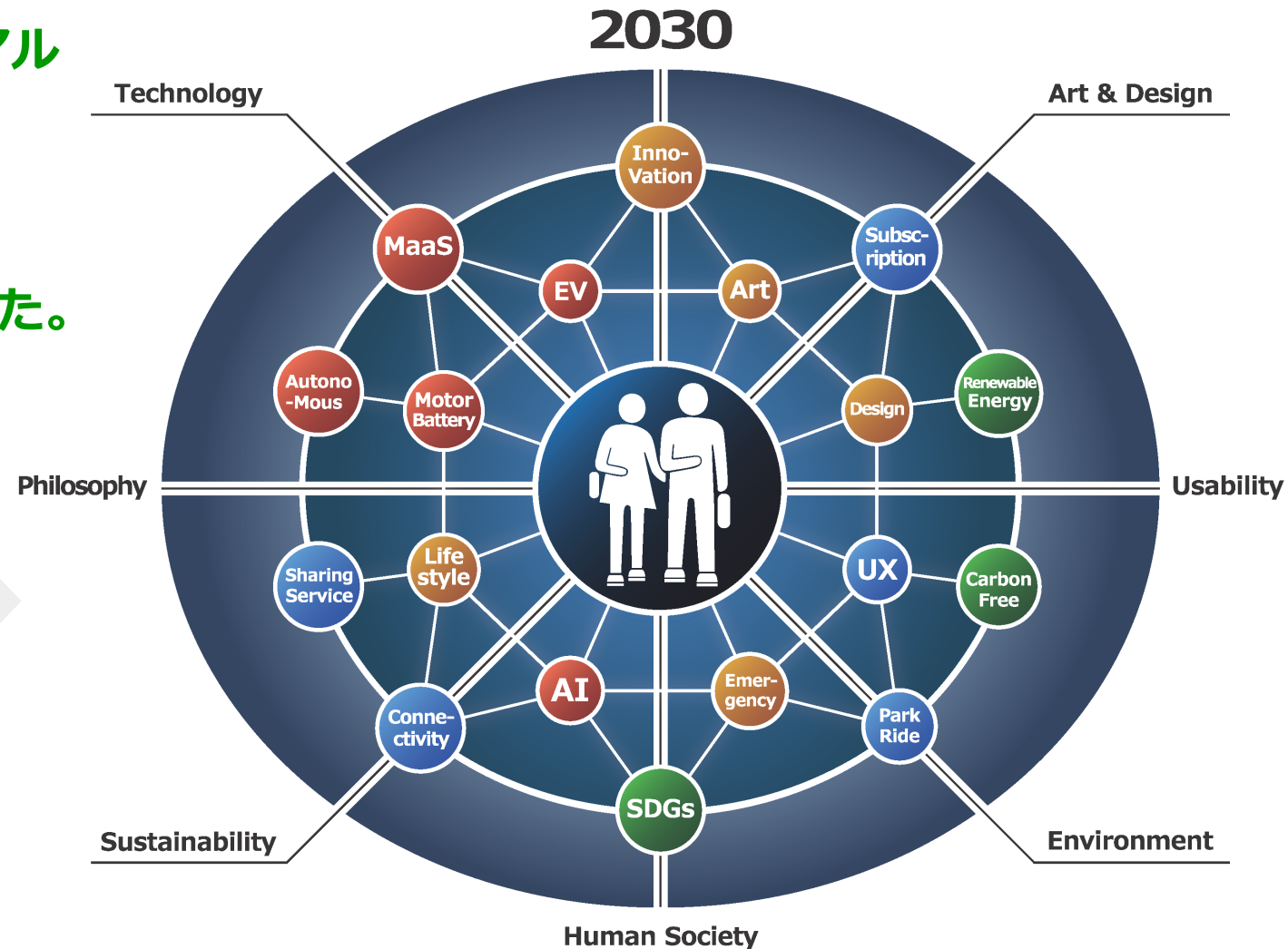
2024年10月下旬 : 最終評価&表彰式

■ Schedule

Beginning of February 2024: Start of accepting applications

End of April 2024 : Pre-Workshop

End of October 2024 : The final screening & award ceremony



航空会社モーターサービス会社コンサルティング

空港内作業車の EV コンバージョン試作車の製作支援

担当理事：佐藤理事
事務局員：安嶋、小堀

日程：

2023年4月ご相談
2023年11月アドバイザリー契約締結
コンサルティング
2024年2月電源投入
2024年3月走行テスト
2024年5月20日 お披露目会実施予定



1. 会員状況
2. 2023年活動報告
- 3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）**
4. 2024年度事業活動
5. 予算計画
6. 2024年度体制
7. スケジュール

一般社団法人電気自動車普及協会

Association for the Promotion of Electric Vehicles

3. 電気自動車（EV）の現状と当協会の役割（ミッション）



カーボンニュートラルの実現に期待される、EV（BEV・HEV・PHEV・FCEV）の普及、さらに、CASE/MaaS+などの技術革新が加わり、100年に一度と言われる、大きな構造変化（技術革新、経済システム）が期待される中で、2024年に入り、海外製BEV乗用車販売の失速が多く報じられ、EV普及自体が減速してしまうという誤認が起こっている状況である。



当協会は、一過的な『乗用車のEV化の販売不振』という局所の現状把握をふまえながら本来の地球規模での社会課題を大局的かつ長期的に解決する、EV普及活動によって

『未来の子供たちのために、美しい地球を残したい』

この一念を達成するために、会員企業の皆様と共に先進的な活動を進めることが役割です。

『未来の子供たちのために、美しい地球を残したい』 を実現する。

地球温暖化

化石燃料
資源の枯渇

人口問題

電気自動車（BEV/HEV/PHEV/FCEV）の普及が環境改善の第一歩

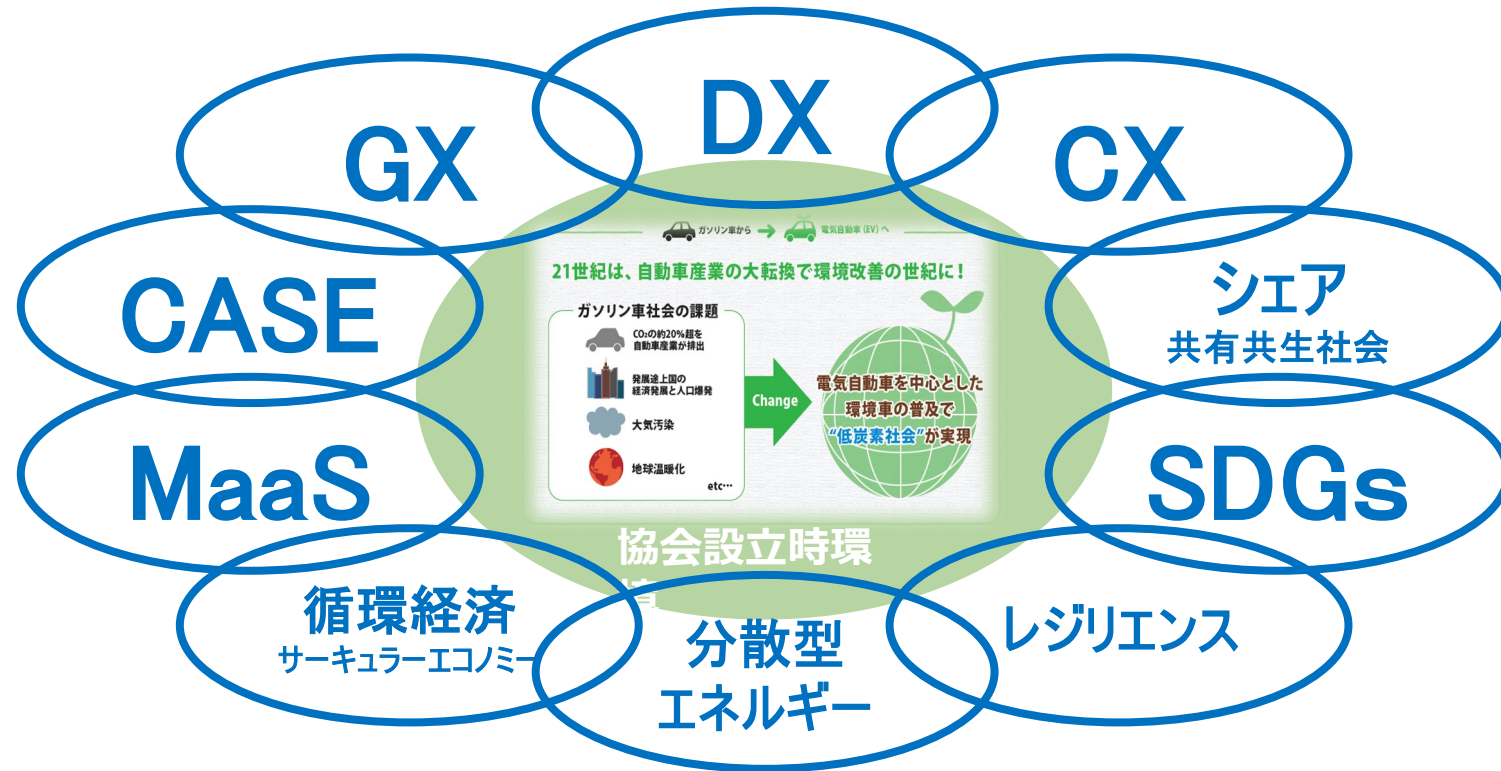
- BEV/HEV/PHEV/FCEV関連の事業や研究、普及活動を行う事業者、研究機関、
- 各種団体をネットワークでつなぐことによって情報の共有
- 個々に行われているコンバージョンEV事業の活動を支援
- 既存の自動車メーカーのさらなる発展のためにBEV/HEV/PHEV/FCEV戦略の実現化
- 電気自動車を受け入れる社会の成熟のために、各地で取り組まれている
- 電気自動車普及活動のサポートや政策提言
- 電気自動車社会を担う若者の育成

『未来の子供たちのために、美しい地球を残したい』

この発足当時からの活動ビジョンを踏まえて、2024年度活動方針を下記4項目に定める。

- A) 会員の自発的かつ積極的な活動の支援
- B) 他の団体との協力強化
(官公庁、自治体、自工会、自技会、他環境系協議会、先端技術研究団体、大学 etc.)
- C) BEV/HEV/PHEV/FCEV普及にむけての企業会員様への具体的な支援、
EV利用実態調査・紹介
(BEV/HEV/PHEV/FCEV普及にお困りの自治体様と会員企業様とのニーズを
マッチングさせる活動)
- D) 未来の子供たちのためのEV理解促進と活躍する機会（チャンス！）の創出

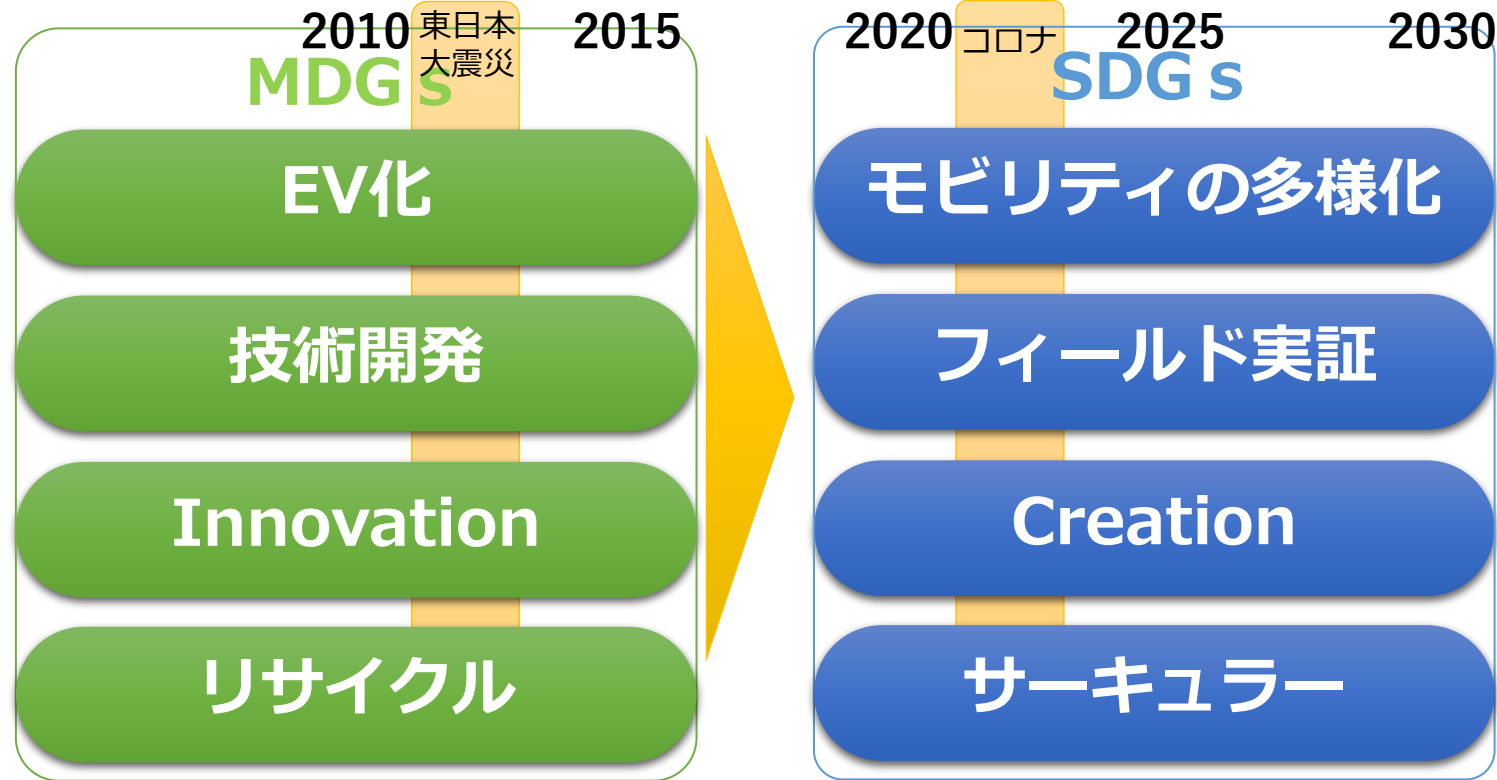
『未来の子供たちのために、美しい地球を残したい』



協会設立時の『電気自動車を中心とした、環境車の普及で“低炭素社会”が実現』する事業から
様々な技術や活動と連携する事業が求められる時代になっている

ガソリン車⇒EVへの置換事業だけにとどまらず、
+αの『移動の価値』を提供する行動が求められている。

『未来の子供たちのために、美しい地球を残したい』



『競争』から『共創』へ
新領域の新たなチャレンジをAPEVは推進する。

『未来の子供たちのために、美しい地球を残したい』

モビリティの多様化

▶ 新規格（乗用車以外）のモビリティの普及促進

フィールド実証

▶ 自治体でのモビリティの普及促進（調査・連携）

Creation

▶ ワークショップやイベントを活用した新たな価値の発掘

サーキュラー

▶ 新たなエコスタイル事業の開発

独自路線で活動するのではなく、政策や自工会や自技会や関連団体と連携する形で、会員に役に立つ事業を推進しEV普及を図る。

1. 会員状況
2. 2023年活動報告
3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）
- 4. 2024年度事業活動**
5. 予算計画
6. 2024年度体制
7. スケジュール

一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

4. 2024事業活動：内容



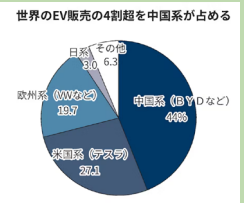
市場分類し、それぞれのニーズに合った活動で効率的に普及推進する

マイクロモビリティ 有効的市場規模は、約1,200万台 これから開拓される市場

用途	市場規模（実証実験より優位性があると考えられた領域）			
近距離の日常的な交通手段	電動アシスト自転車 推定保有台数 約315万台	原動機自転車 保有台数 第一種 約618万台 第二種 約170万台 出典：（一）日本自転車工業会	カーシェアリング台数 約3万台 出典：日本カーシェアリング協会（2023年）	離島における自動車 保有台数 約52万台
	超小型モビリティ			
観光地・商業地での回遊・周遊	全国レンタカー（乗用車）の台数 約27万台 出典：（一）全国レンタカー協会（平成30年度）	全国レンタサイクル台数 約2.4万台 出典：日本自転車工業会（平成30年度）	全国タクシー・ハイヤーの台数 約24万台 出典：国土交通省統計情報	
	超小型モビリティ			
業務 小規模配送 訪問介護・巡回	郵便集配用車両 約8.6万台	飲料デリバリー車両 約1.4万台 フードデリバリー車両 約1万台	全国介護施設等の推定保有台数 約16万台 出典：（一）全国介護施設等推定保有台数調査委員会（2023年度）	全国自治体における公用車推定台数 約46万台 出典：国土交通省統計情報
	新聞配達車両 宅配用車両 等 約8.4万台	超小型モビリティ		

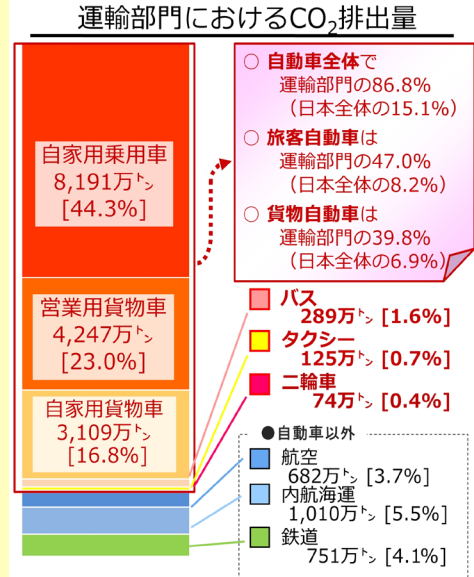
乗用車 新車販売数：477万8861台 内EVは、155万6689台

種類	2023年販売台数	比率
BEV	43,991台	1.66%
HEV	1,460,133台	55.07%
PHEV	52,143台	1.97%
FCEV	422台	0.02%



新車EV乗用車販売事業は、メーカー主体事業で会員への共有情報として発信モビリティショー等のEV普及活動では連携を図る

トラック・バス 新車販売台数：6万6499台 EVの普及はこれから本格化



トラック・バスは走行頻度が高くCO₂排出量では運輸部門の約40%を占めることから、EV化による脱炭素の効果は高い。

モビリティの多様化
マイクロモビリティ
市場の創生・検討
市場調査・法規制整備

フィールド実証
市場調査報告
地域ワークショップ
eモビミートアップ

Creation
国際ワークショップ
eモビミートアップ
会員マッチング

サーキュラー
EVコンサルティング
新事業開発
政策提言

モビリティの多様化

▶ 新規格モビリティの政策提言を実行し、事業を開発する。



小型低速EV車両（マイクロEV）の普及を目指し、政策提言を実施する。

マイクロEVの最適な配備により、CO2削減だけでなく、渋滞緩和などの環境ストレスのニュートラル化を目指す。

また、低速の利を活かし地域型CASE/MaaSの早期実現を目指す事業。

◆体制 担当理事：田嶋代表理事、佐藤理事、鈴木理事、草加理事

事務局：上荒磯、安嶋、小堀

フィールド実証

▶eモビリティミートアップの開催（年4回）

「スマートモビリティチャレンジ」
支援対象地域・事業



No.	市区町村（地域）	都道府県
1	阿寒地域	北海道
2	上士幌町	北海道
3	浪江町・南相馬市	福島県
4	会津若松市	福島県
5	新潟市	新潟県
6	日立市	茨城県
7	つくば市	茨城県
8	前橋市	群馬県
9	横須賀市	神奈川県
10	川崎市・箱根町	神奈川県
11	伊豆地域	静岡県
12	静岡市	静岡県
13	豊田市	愛知県
14	春日井市	愛知県
15	菟野町	三重県
16	志摩地域	三重県
17	永平寺町	福井県
18	大津市	滋賀県
19	南山城村	京都府
20	京丹後周辺地域	京都府
21	神戸市	兵庫県
22	山陰地域	鳥取・島根県
23	大田市	島根県
24	庄原市	広島県
25	瀬戸内地域	香川県
26	大分市	大分県
27	肝属郡3町	鹿児島県
28	八重山地域	沖縄県



会員自治体の実証実績や計画をeモビリティミートアップの機会で共有

会員向けにEV普及の政策やテクノロジーの発表に加え、自治体でのEV普及アクションを紹介していただくことで、会員同士の情報交流を図る。
可能であれば、発表自治体に訪問し、会議を開催することも検討する。

◆体制 担当理事：佐藤理事、鈴木理事、草加理事 事務局：上荒磯、安嶋、佐野

Creation

▶ 「人材育成事業」 「企業参加型ワークショップ事業」

“モビリティで2030を創る” 【X-Cityの提案】

融合型人材＝アーキテクトの育成の機会としてのワークショップを開催

2024年 3月中旬：エントリー開始

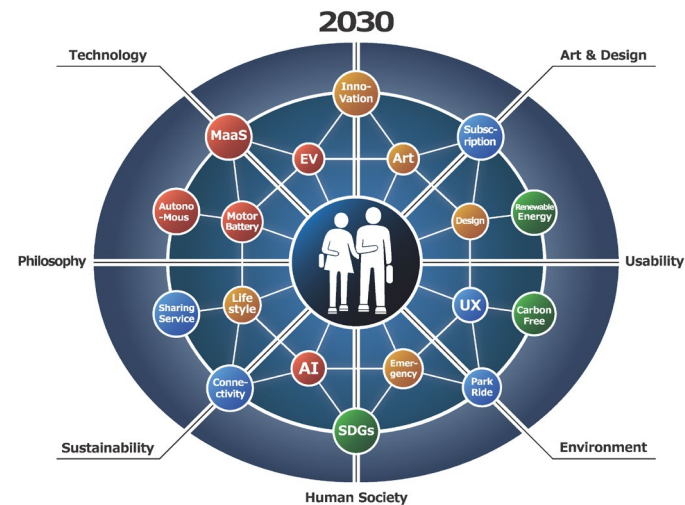
2024年 4月20日：プレ ワークショップ

ワークショップ：1回目 6月 2回目 8月

最終回2024年10月下旬：最終選考&表彰式

応募要領

- 資格：2024年4月時点で15歳～30歳の学生
- エントリー費：無料
- 学校をまたがるチーム編成も可
- 参加者は主催者が指定するSNS(別途決定)に登録でき、各種案内にタイムリーに回答できる
- 作品は英語を基本とする（母国語を併記することは可）



アーキテクト〔定義〕とは、

- モビリティを取り巻く専門職に留まらず、デザインやエンジニアリングの範疇を超え、確固たるビジョンと洞察力を有する人材。
- 「Art/Design」「Philosophy」「Technology」に関わる知識と、豊かな「Sustainable & Human Society」を有する人材。
- 仲間を巻き込み、プロジェクトの成功のために協力する磁場を構築することができる、総合的な能力の持ち主

「次世代を担う融合型人材の育成」を目指し、

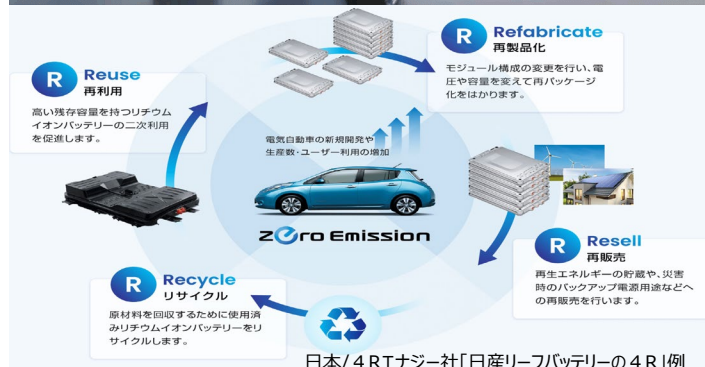
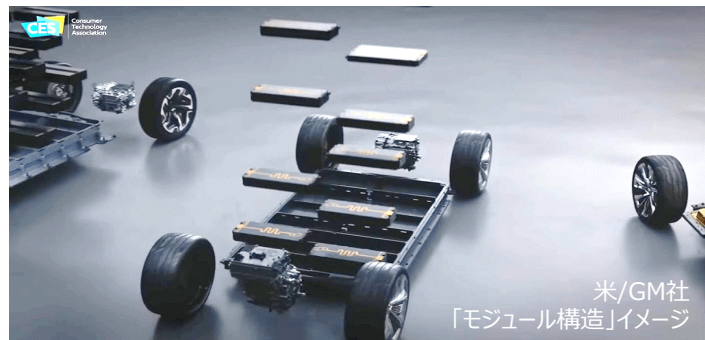
未来に於ける社会課題を解決する提案を募る。

参加企業がZ世代の学生と共に、2030年に実現する「X-City」を考えるワークショップ。「若い力・発想」を会員及びスポンサーに活用していただける機会を創出する事業。

◆体制 担当理事：山根理事、望月ADV、事務局：上荒磯、安嶋

サーキュラー

▶ 「EVリビルト事業」 「EVコンバージョン事業」 「コンサル事業」



充電できなくなったEV
廃車もしくは、メーカーで
バッテリーユニットの交換
修理で高額

交換のバッテリーユニットの
カバーを外す。
(メーカー保証は外れる)
一般工具で分解可能である。

モジュール単位で電圧測定
エラーモジュールを分解し
バッテリーパックごとに評価
故障パックを交換

作業時間半日～1日ほどで
作業終了。
EVとして再活用
ナンバー取得可能

EVリビルト事業の確立により、新たな産業創出を実現する。

EVは現在リセールバリューが低く、修理費用が高い構造となっている。
しかし、メーカーでは部品もしくは、モジュール単位で管理されており、
交換作業が容易である。EV再生/EVコンバージョン事業の創出を目指す。

1. 会員状況
2. 2023年活動報告
3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）
4. 2024年度事業活動
- 5. 予算計画**
6. 2024年度体制
7. スケジュール

一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

5. 予算

収入の部		
	年会費	4,500,000
	新規入会	1,500,000
	寄付	0
	デザインコンテスト収入 繰越金 他	8,847,538
収入計 (A)		14,847,538
支出の部		
	共同研究費（プロジェクトルーム家賃込）	3,000,000
	事務局給与	6,072,000
	専門・業務委託	300,000
	運営経費(役員交通費、事務局交通費、通信費)	1,175,538
	関連団体運営費（APEVドイツ等）	300,000
	デザインコンテスト運営経費	4,000,000
支出計		14,847,538

1. 会員状況
2. 2023年活動報告
3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）
4. 2024年度事業活動
5. 予算計画
- 6. 2024年度体制**
7. スケジュール

一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

- ・会 長 : 鈴木 正徳¹
- ・代表理事 : 田嶋 伸博²
- ・理 事 : 佐藤 員暢³, 鈴木 高宏⁴, 山下 敏男⁵, 草加 浩平⁶, 藤原 洋⁷, 山根 健⁸,
椎木 衛⁹, 上荒磯 祥彦¹⁰
- ・名誉顧問 : 横川 浩
- ・監查理事 : 佐藤 祐作
- ・アドバイザー : 井原 慶子, 奥山 清行, 河口 洋一郎, 高橋 洋平, 館内 端, 村沢 義久 *アイウエオ順

【事務局】

- ・事務局長 : 上荒磯 祥彦
- ・上席研究員 : 安嶋 言一郎
- ・研究員 : 安嶋 浩
- ・事務局 : 小堀 和代、佐野 茂樹

* 主席研究員 : 唐鎌 圭彦
(EVニュース執筆・月20本程度)

1. 会員状況
2. 2023年活動報告
3. 協会活動方針（ビジョン・事業環境）
4. 2024年度事業活動
5. 予算計画
6. 2024年度体制
- 7. 年間スケジュール**

一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

7. 年間スケジュール

年度		2023年度											
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
APEV 全体	協会全体	準備	社員総会 案内	11日 社員総会									
	理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会	リアル 理事会	Web 理事会	Web 理事会	Web 理事会
1)	モビリティ の多様化 マイクロEV	要件整理			公官庁 ヒアリング			公官庁 ヒアリング			事業化 検討		
2)	フィールド実証 eモビリティ ミートアップ			開催	自治体 インタ ビュー		開催	自治体 インタ ビュー		開催	自治体 インタ ビュー		開催
3)	Creation 国際WS事業	プレWS 開催		WS 1回目		WS 2回目		WS 最終回 表彰式					
4)	サーキュラー EVリビルド事業		要件整理		視察		打合せ			打合せ		事業FS	
連携	公官庁、自治体、 各種団体との連携	随時公官庁・自治体に訪問											
	イベント			人とくるま のテクノロ ジー展				CEATEC					